

岩手県感染症週報

平成15年第10週（3月3日～3月9日）

岩手県結核 感染症情報センター

第10週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

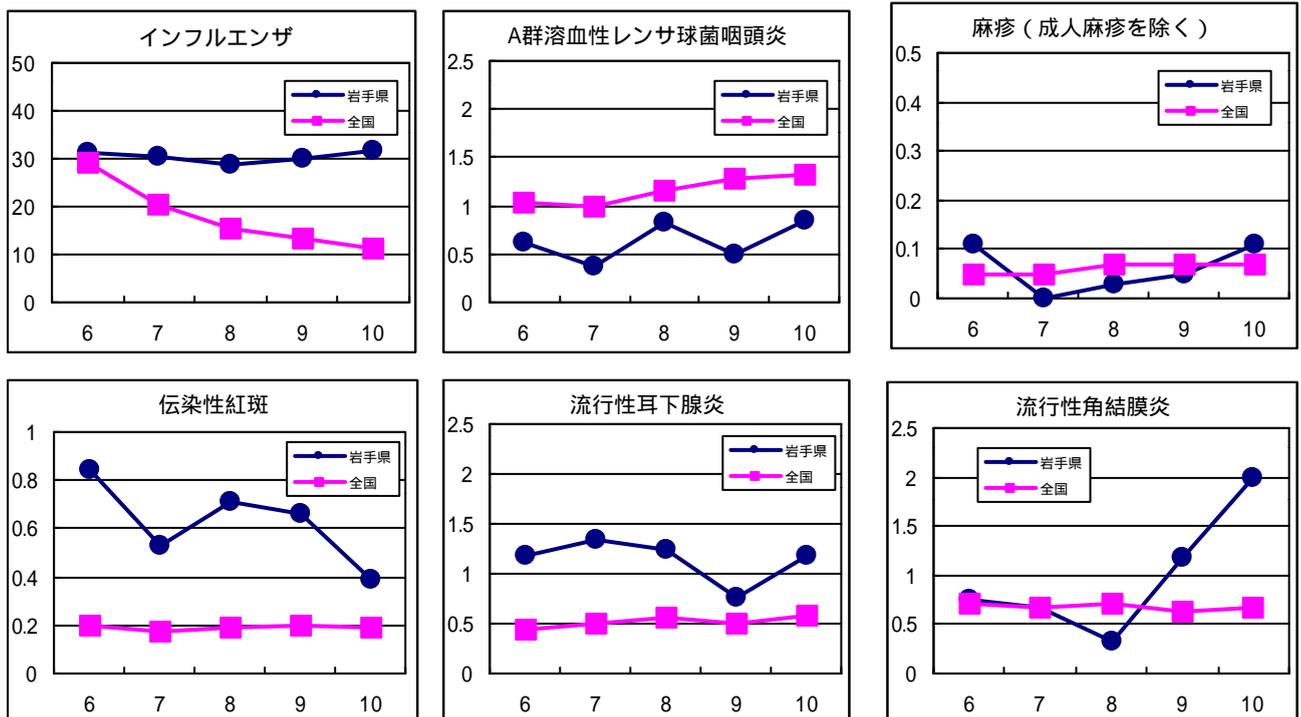
・インフルエンザが再び増加しています。この週の定点あたり患者数は、前週の30.1から31.6となりました。これは、A香港型インフルエンザウイルスによる流行が、2月中旬をピークとして下降してきたものの、やや遅れて始まったB型インフルエンザウイルスによる流行が拡大してきたためと考えられます。

この週、県内でインフルエンザ流行警報（定点あたり患者数30以上）が発令されているのは先週より一地区増え、花巻、北上、一関、釜石、久慈の五地区となりました。

- ・流行性角結膜炎は久慈地区で先週よりさらに患者数が増加し、定点あたり患者数が16.0となりました。今後さらに流行の拡大が予想されますので注意が必要です。
- ・北上、釜石地区で流行が続いている伝染性紅斑はこの週には減少しました。
- ・麻疹はここ数週水沢、一関地区などで患者の発生が続いています。今後の動向に注意が必要です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		6	7	8	9	10	
インフルエンザ	岩手県	31.35	30.5	28.79	30.05	31.55	↗
	全国	29.03	20.41	15.56	13.26	11.14	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0.03	0	0	→
	全国	0.07	0.06	0.08	0.06	0.08	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.63	0.37	0.82	0.5	0.84	→
	全国	1.04	1	1.16	1.28	1.32	
感染性胃腸炎	岩手県	4.76	4.87	5.39	4.47	3.87	↘
	全国	8.9	8.53	9.57	9.81	9.67	
水痘	岩手県	1.08	0.97	0.92	1.03	1	→
	全国	1.81	1.72	1.81	1.79	1.85	
手足口病	岩手県	0	0.05	0	0.05	0.03	→
	全国	0.1	0.09	0.08	0.1	0.11	
伝染性紅斑	岩手県	0.84	0.53	0.71	0.66	0.39	↘
	全国	0.2	0.17	0.19	0.2	0.19	
突発性発疹	岩手県	0.34	0.55	0.45	0.58	0.34	→
	全国	0.59	0.59	0.64	0.64	0.63	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01	
風疹	岩手県	0.03	0.03	0.03	0.03	0	→
	全国	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0	0.03	0	0.03	→
	全国	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.11	0	0.03	0.05	0.11	↗
	全国	0.05	0.05	0.07	0.07	0.07	
流行性耳下腺炎	岩手県	1.18	1.34	1.24	0.76	1.18	→
	全国	0.44	0.51	0.56	0.51	0.58	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.03	0.02	0.02	0.02	
流行性角結膜炎	岩手県	0.75	0.67	0.33	1.17	2	↗
	全国	0.72	0.67	0.71	0.62	0.67	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0	0.01	0.01	0.02	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.05	0.2	0	0.1	0.3	→
	全国	0.15	0.19	0.15	0.17	0.16	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0.02	0.01	0	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.01	0.03	0.02	0.02	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		6	7	8	9	10	累計	10	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	4
	細菌性赤痢	1	0	0	0	0	6	8	98
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	13
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	5
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	7	84
四類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	1	0	1	7	92
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	1	0	0	1	2	6
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	1	1	0	0	2	11	162
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	22
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	18
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	7	149
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	10
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	5
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	1	22
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	6	87
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	10
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	13
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	18
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	2	32	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

「ウエストナイル熱」が平成14年11月から新たに四類感染症に指定されました。

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザの流行

日本でのインフルエンザの流行は毎年冬期にみられ、11月下旬から12月上旬頃に発生が始まり、翌年の1～3月頃に患者数が増加し、4～5月にかけて減少していくという発生パターンを示します。

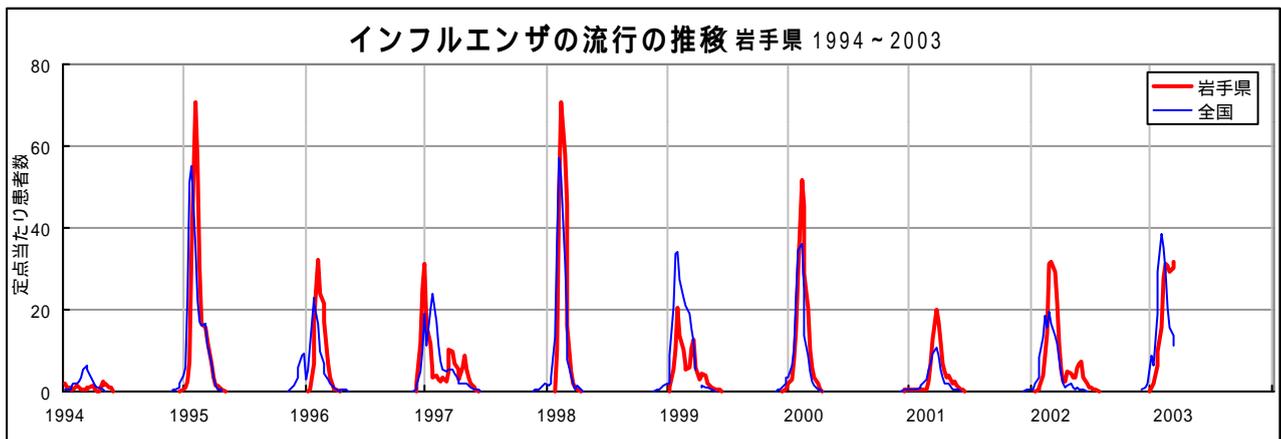
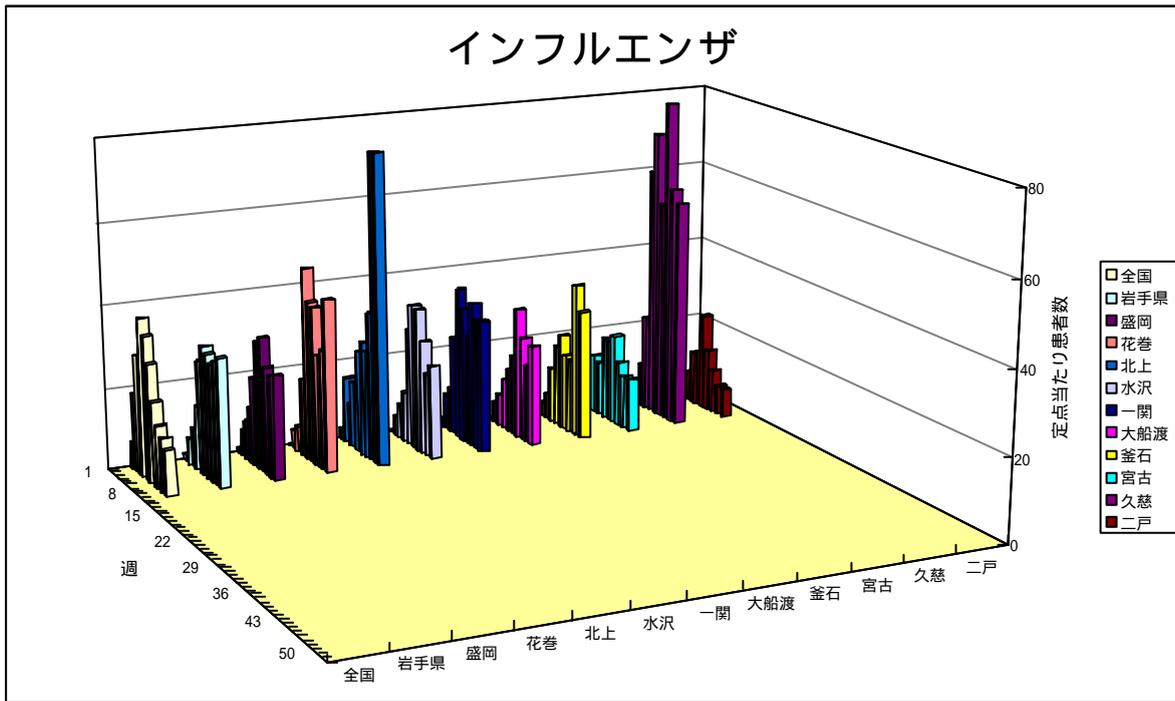
臨床症状

1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱（通常38度以上の高熱）・頭痛・全身の倦怠感・筋関節痛などが突然現われ、咳・鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、約1週間の経過で軽快します。普通のかぜに比べて全身症状が強く現れます。

予防(ワクチン)・治療

現行のインフルエンザワクチンはウイルスの感染やインフルエンザの発症そのものを完全には防御出来ませんが、重症化や合併症の発生を予防する効果は証明されています。高齢者など罹患した場合に重症化する可能性の高い人には、積極的なワクチン接種がすすめられています。

インフルエンザに対する治療法は、これまでは対症療法が中心でしたが、1998年に我が国でも抗A型インフルエンザ薬としてアマンタジンを使用することが認可されました。アマンタジンは薬剤耐性ウイルスが出現し易いため、使用には注意が必要とされています。さらに、2001年にはノイラミニダーゼ阻害薬（ザナミビル、オセルタミビル）が認可されました。ノイラミニダーゼ阻害薬はA型にもB型にも有効な抗インフルエンザ薬で、耐性も比較的できにくく、副作用もほとんどないとされています。発病後2日以内に服用すれば症状を軽くし、罹病期間の短縮も可能とされています。



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型ウイルスを2例、B型ウイルスを10例検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からノーウォークウイルスを1例、サッポロウイルスを1例検出しました。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の措置施設数は、3月13日までに159施設となりました。

措置施設等の累計（3/13まで）

	岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
施設数	159	34	5	6	10	36	16	14	11	19	8

医療機関からの情報

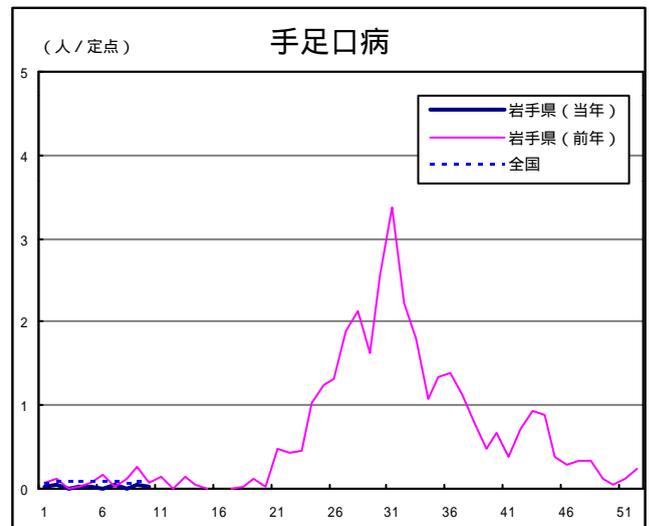
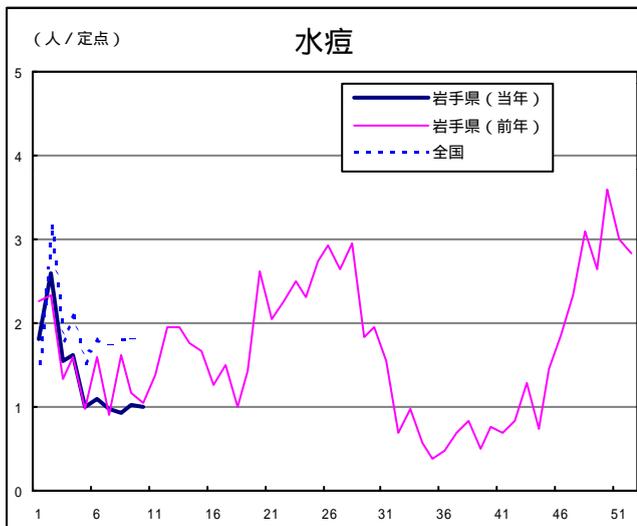
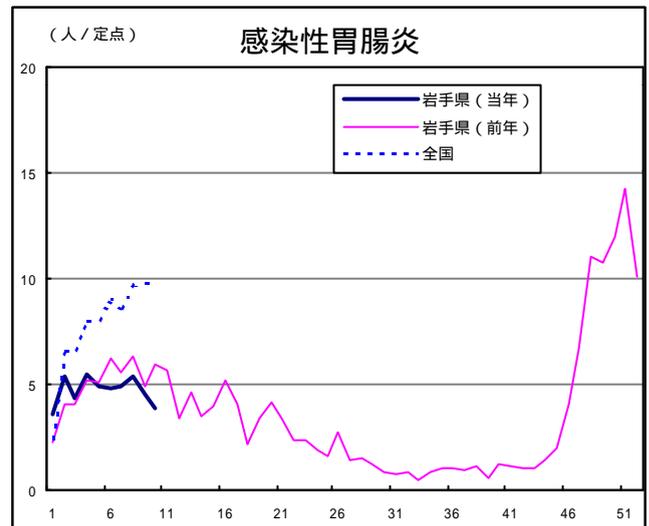
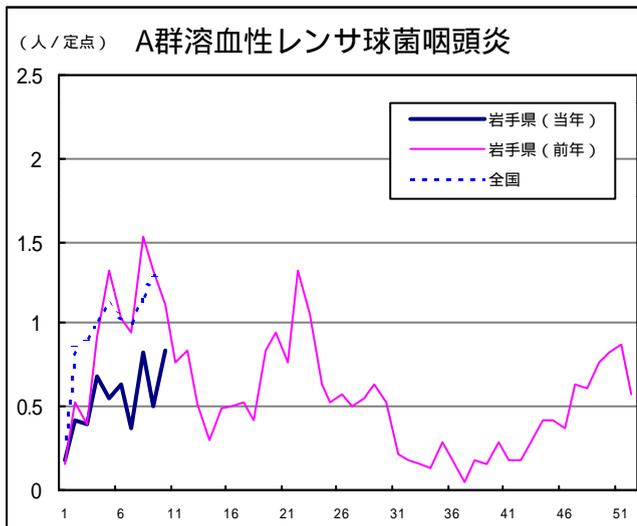
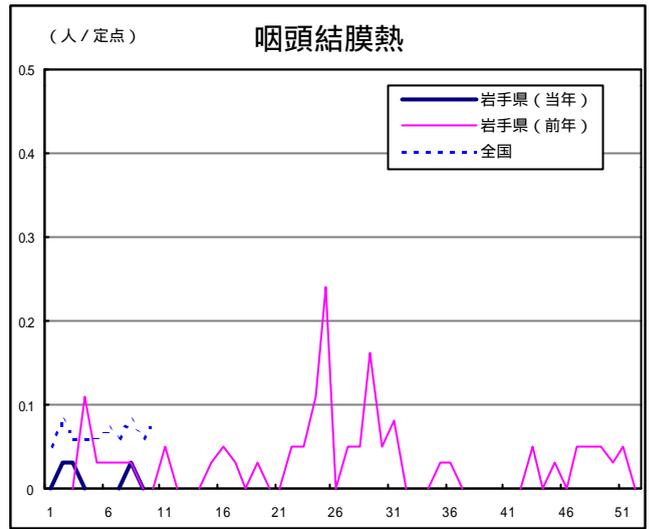
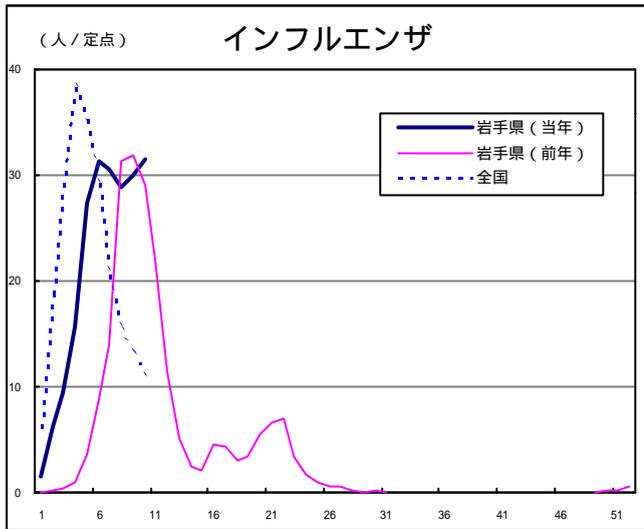
医療機関からの情報はここに掲載します。

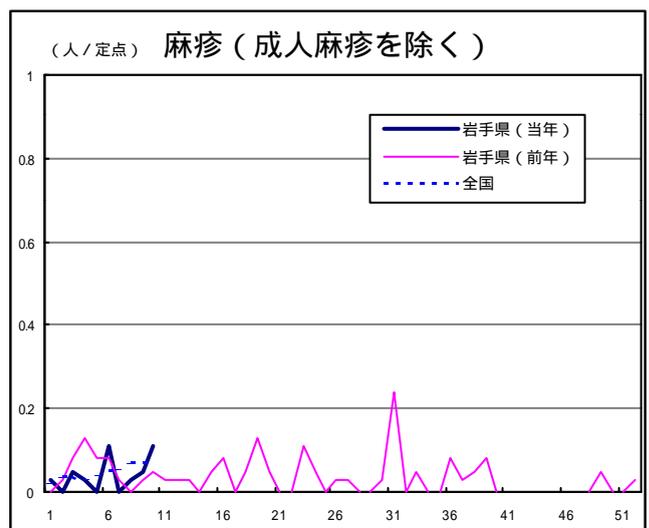
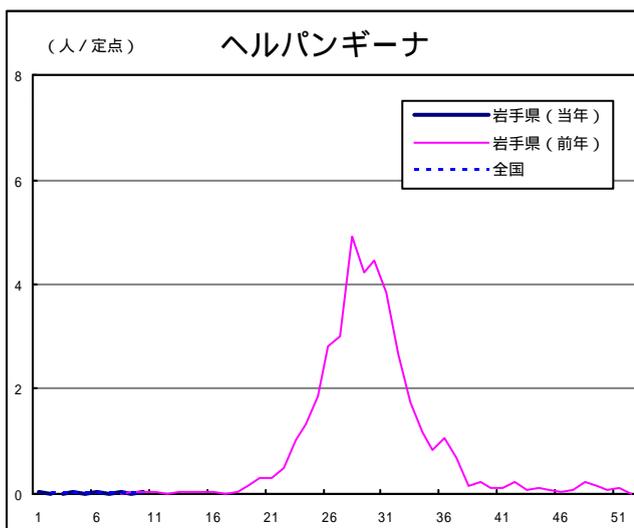
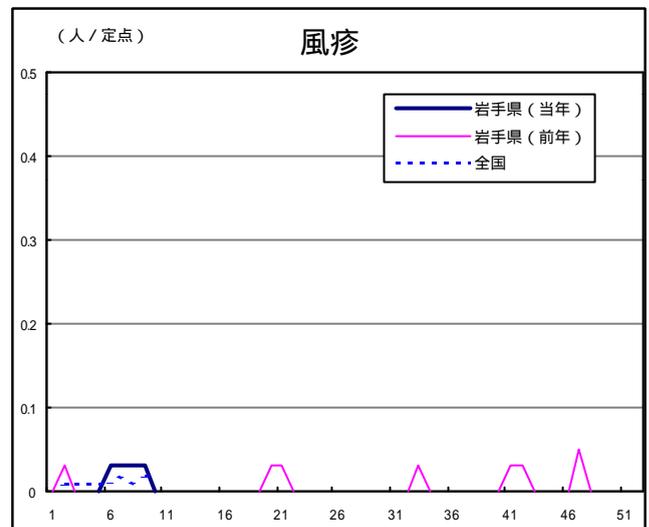
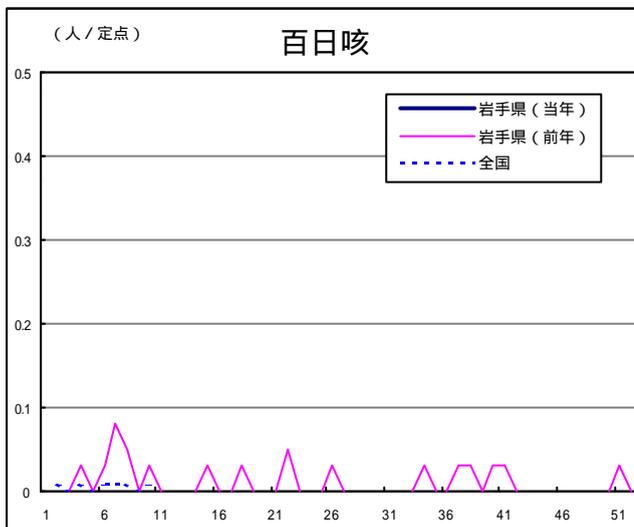
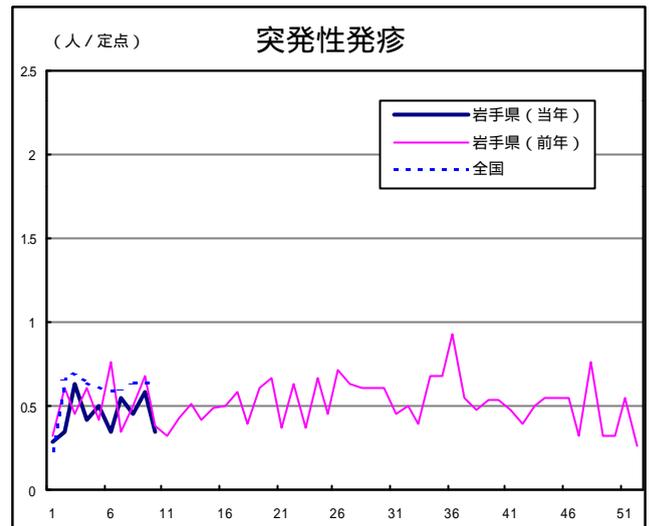
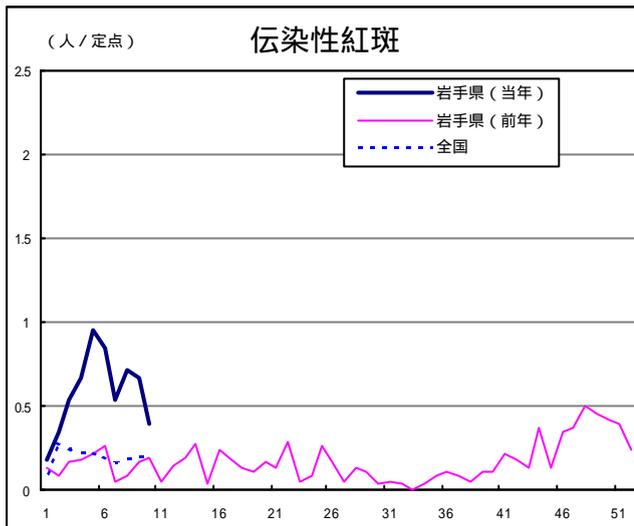
Q & A

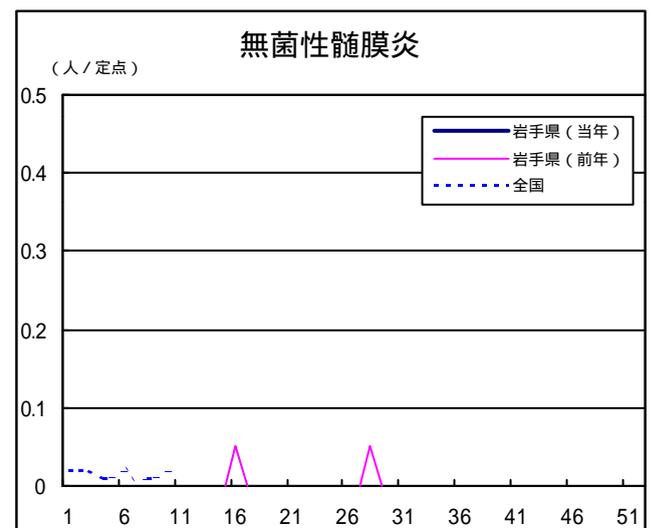
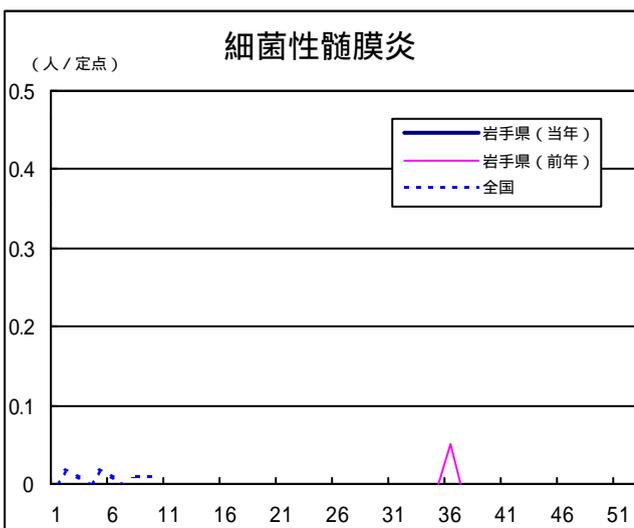
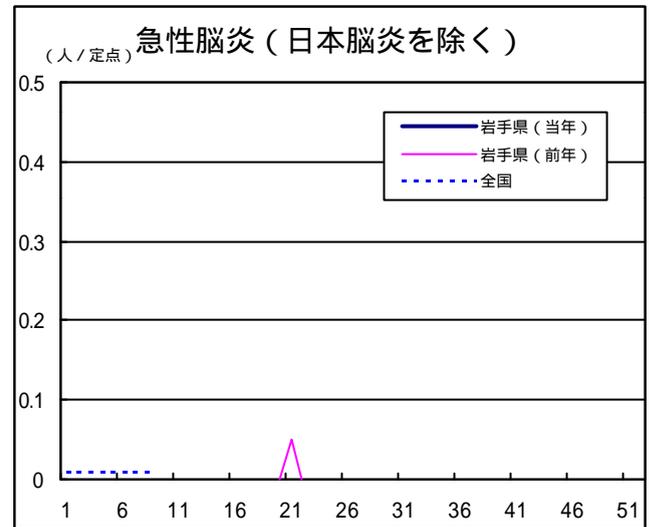
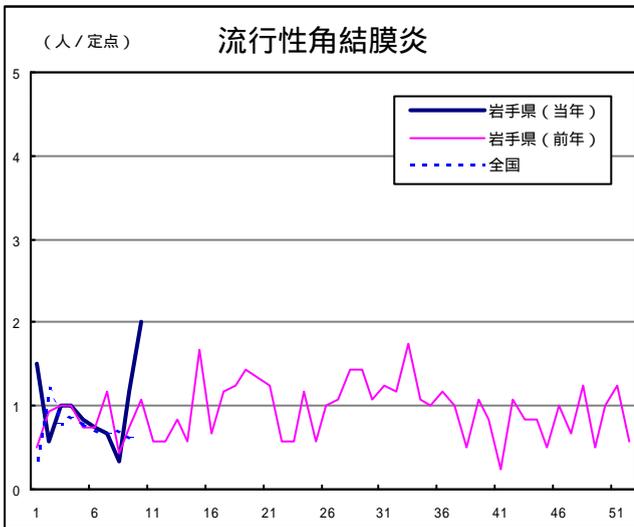
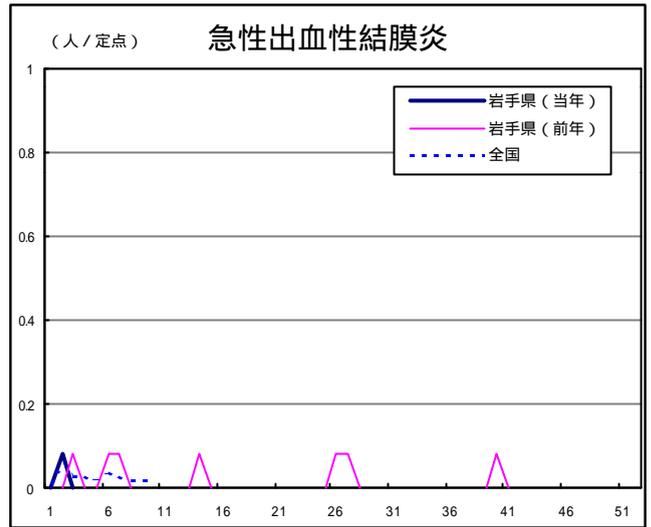
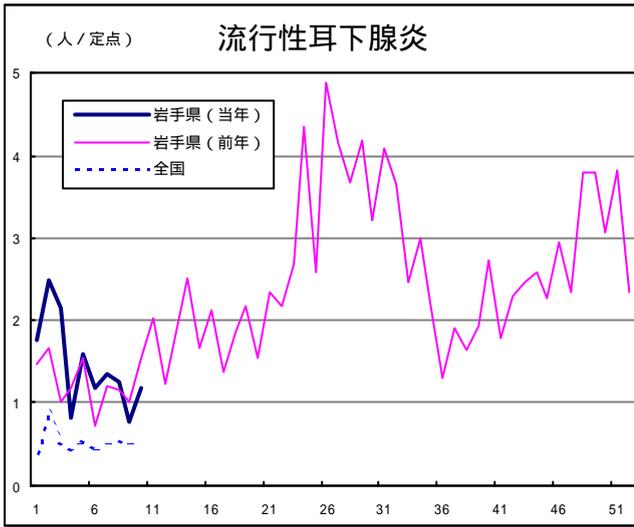
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

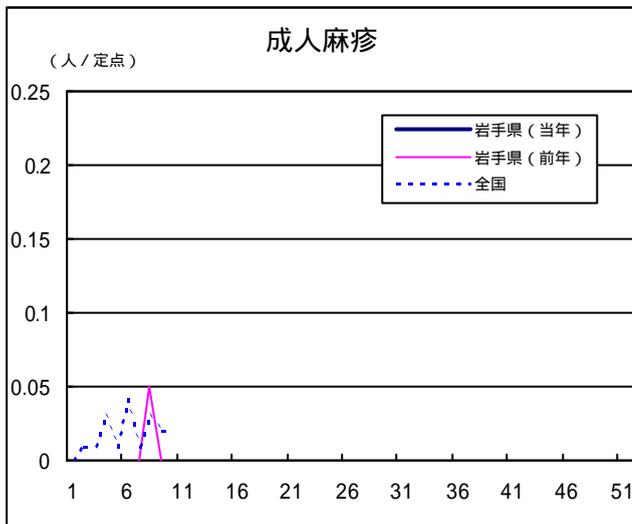
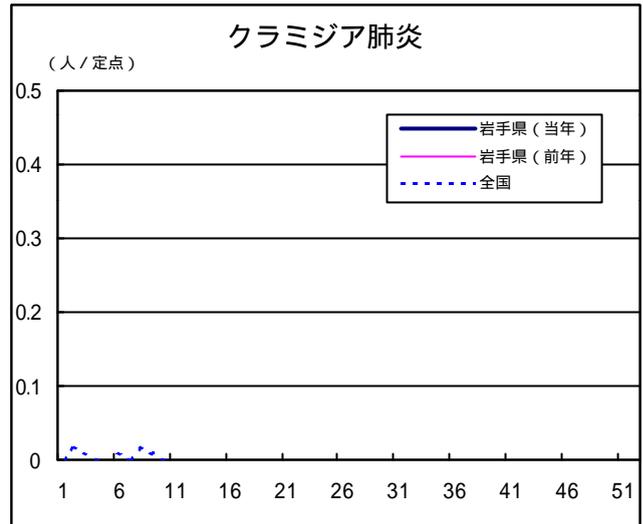
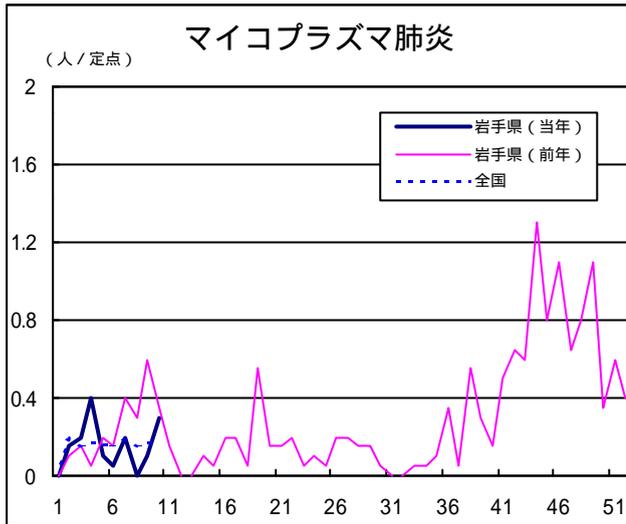
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」の配信を始めました。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第10週 平成15年3月14日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>